水 特集

令和8年6月定例会 本会議 一般質問

PFASなど化学物質への対策を質問

私が問題提起したこと

半導体工場では、さまざまな化学物質が使われるため、排水を安全に処理することが重要です。特にPFASなど、現在の法規制では対象となっていない物質について、県が使用・排出の可能性を十分に把握できていないことを指摘しました。工場内でできる限り高濃度の段階で分離・回収した上で、国費や県費を使って整備する特定公共下水道施設でも処理の対策が必要ではないかと質問しました。

PFASの懸念

PFASは分解されにくく、蓄積性があります。有明海は閉鎖性の海であり、長期にわたり流入が続けば、海の泥や魚介類に蓄積する可能性もゼロではありません。

「基準を満たしていれば大丈夫」ではなく、予防原則に基づいた対策が必要です。

熊本県で建設が進む半導体の新工場の排水 PFASなど規制外物質への対応は？

こちらからご視聴いただけます→

https://www.kab.co.jp/news/article/16636551



引用元：熊本NEWS - KAB ONLINE - 2026年6月11日

活動報告



被災地での炊き出し



ナス農家視察



いぐさ農家視察



県政懇談会



江津湖清掃作業



終戦の日に神社参拝

←議会での質問の様子は
こちらからご覧いただけます。

令和8年6月定例会
6月11日　本会議 一般質問

1.半導体企業集積における半閉鎖循環型システムなどの再生水活用について
2.特定公共下水道施設における化学物質の処理について
3.教職員の台湾派遣研修について
4.外国人への日本語教育や生活ルールの周知及び国の関係機関との連携強化について
5.農業の担い手及び労働力の確保対策について
6.新型コロナ対策及び健康被害に関する検証について（要望）

高井ちとせ事務所
〒862-0926
熊本県熊本市東区保田窪2丁目1−6 1階

高井ちとせHP

育てる会（後援会）
入会のご案内